



拓く

夢を持ち、豊かに生きる生徒の育成
 ～コミュニティ・スクールを通して～
 福富中学校便り No2 令和2年 5月25日
 文責 校長 福田健成

コミュニティ・スクール「ふるさと福富を愛し、誇れる子ども」

学校再開、「ひとみ生き生き」元気な学校へ

4月16日の全国への「緊急事態宣言」をうけ、23日間の臨時休業期間を終えて5月14日より学校が再開されました。新型コロナウイルス感染症については、昨日も全国では42名の新たな感染者が出ており、まだまだ収束に向けては油断できない状況にあります。感染防止対策のため学校では下校後に職員が協力して校舎内の消毒作業を行い、登下校時からのマスク着用はもちろん、生徒玄関では健康チェックを行い、給食でも黒板を向いての個別給食など感染防止対策を講じた上での学校運営を進めています。



毎朝の健康チェック



「元気なあいさつ」の充実に向けて

部活動の再開とともに、放課後の元気な生徒の声飛び交っています。激励にいくと全員そろって「お願いします」と元気なあいさつをしてくれます。その反面、朝の登校時に交通指導とあいさつ運動をかねて、だるま坂の信号に立っているのですが、登校してくる生徒からは放課後のような元気のいい「おはよう」の声は聞けません。家庭で、地域ではいかがでしょうか？

同様に登校してくる小学生は元気なあいさつと、信号で止まってくれた車にお礼の会釈までしてくれます。1年生はつい3月まで、その元気な「あいさつ」ができていたはずですが。人とのつながり(絆)の要として大切な「あいさつ」です。コミュニティ・スクールとして、地域と家庭と学校が一つになって子どもたちの「元気なあいさつ」を育てていきましょう。

夏の甲子園大会中止、佐賀県高校総体中止⇒代替大会実施へ、さて中体連は？

今年度の佐賀県中学校総合体育大会の開催については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を考慮しつつも、3年生の活躍の場面を企画しようと検討が続けられております。学校では換気と三密防止を考慮して、体育学習でのマスク着用を緩和したり、部活動の対外試合の自粛を緩和したりして、次第に感染症流行以前の状況に戻りつつあります。今週、各競技の専門部の話し合いがありますので、会場の確保、応援の方法、大会運営、競技方法等の対策を十分議論した上で、規模縮小でも開催決定に結びつくよう議論されることを望んでいます。



これまでの新型コロナウイルス感染症流行の中で、学校での集団感染や部活動を通しての感染

例は、報告されておられません。しかしながら、感染経路不明の事例がある限り感染のリスクは無いとは言い切れない状況です。「コロナ対策の新生活様式」は、まず**大人**がその規範となるべきです。練習試合等もありますので、送迎・応援等ご協力お願いいたします。

5月～6月初めの主な行事予定

25	26	28	29	30	6/1	3	4	5	9	10	11	12
月	火	木	金	土	月	水	木	金	火	水	木	金
学級討議	専門委員会	教育相談開始↓	QUアンケート	土曜開校日(午前)	PTA交通安全指導↓	生徒集会	小中合同挨拶運動↓	歯科検診	1年農業体験	全校集会	PTA役員会(夜)	私立高校説明会

